

経営比較分析表（令和6年度決算）

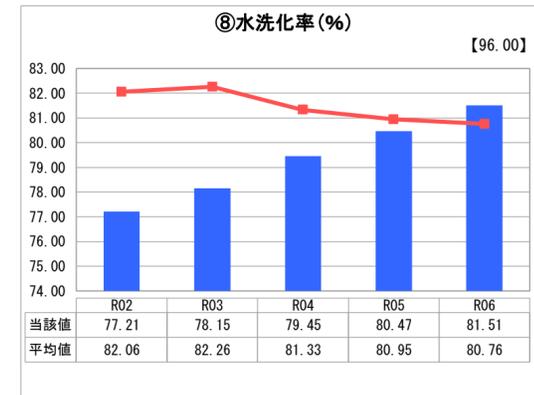
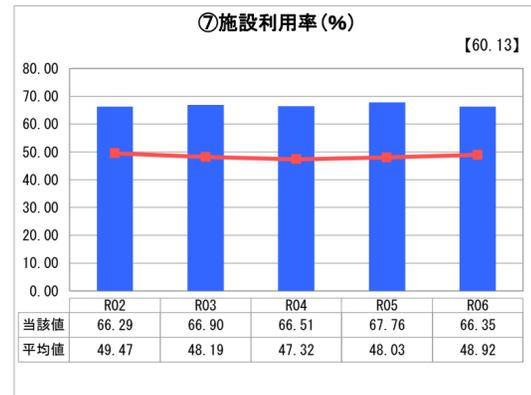
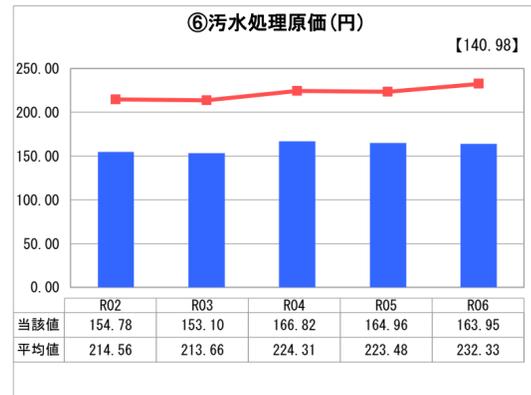
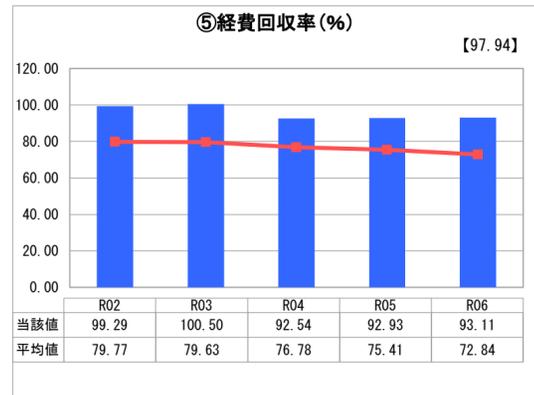
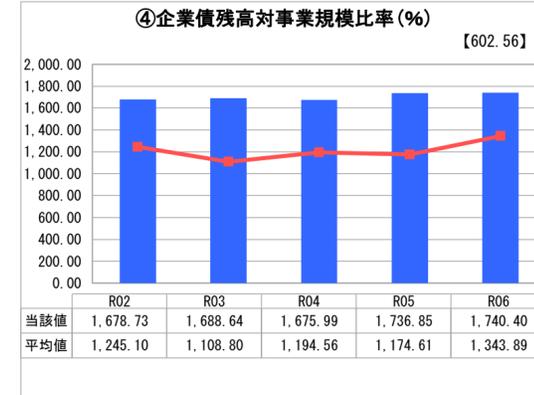
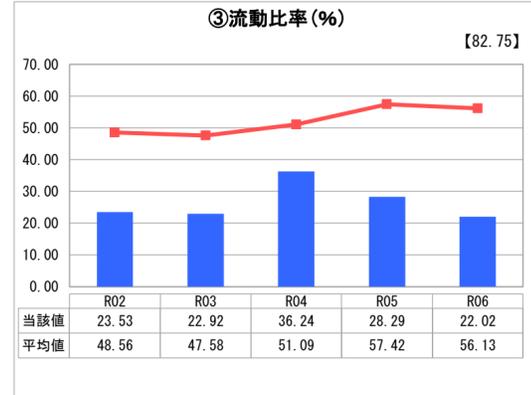
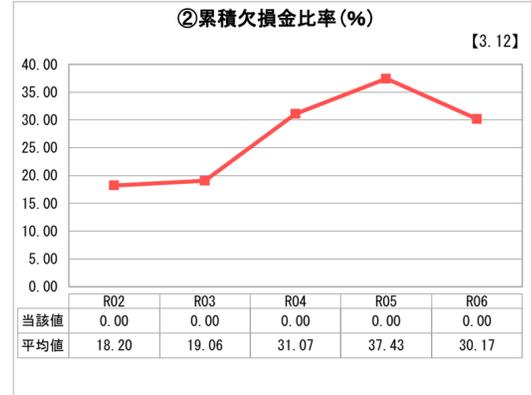
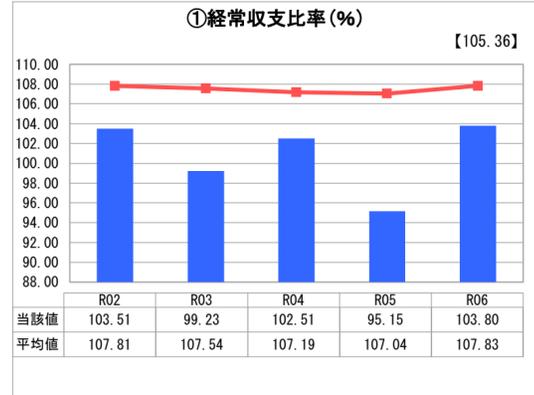
兵庫県 福崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	40.84	46.28	96.82	2,450

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,573	45.79	405.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,551	3.97	2,153.90

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

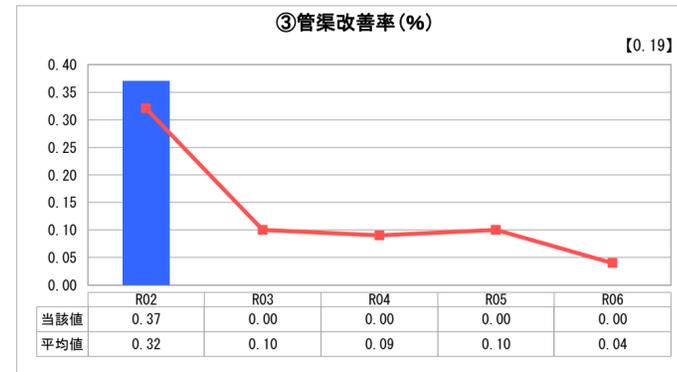
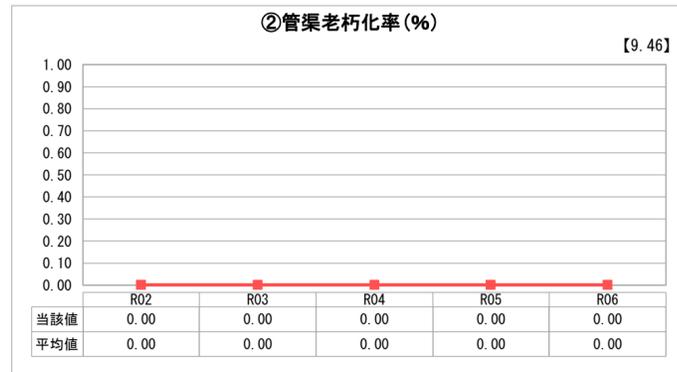
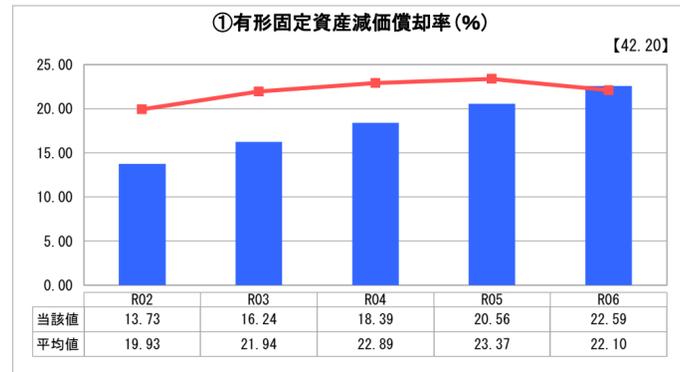
1. 経営の健全性・効率性について

平成28年度から公共下水道事業に地方公営企業法を適用した。
 ①経常収支比率は100%に達しているが、⑤の経費回収率は93.11%であり、大部分は使用料だけで経費を賅うことができているが、一般会計からの繰入金にも依存する状況が続いている。
 ②累積欠損金比率は0%であり、法適用前の債務超過による欠損金は解消している。
 ③流動比率は100%を大きく下回り、類似団体の平均値よりも低い数値となっている。これは流動負債の企業債償還金が多額となっているためである。
 ④企業債残高対事業規模比率については、雨水整備工事に伴う新規借入により上昇している。
 ⑥汚水処理原価は類似団体の平均値より低くなっており、膜処理方式の採用により効率的な稼働が図られていると考える。
 ⑦施設利用率は工業団地の接続が令和元年度に完了して以降、ほぼ横ばいの状況である。
 ⑧水洗化率は毎年少しずつ増加しており、類似団体の平均値を上回った。しかし、全国平均と比較すると大きく下回る状況であり、今後は町外に住む土地所有者の方へも接続を推進していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

管渠は平成14年から、処理場は平成15年から整備を開始し、平成17年に供用開始した。比較的新しい施設であるが、処理場の機械設備等で耐用年数が短いものについては、ストックマネジメント計画に基づいて計画的に更新していく。今年度は第2期ストックマネジメント計画として、令和7年度から令和11年度までの実施計画を策定した。

2. 老朽化の状況



全体総括

平成27年度に汚水の主要な整備が完了し、現在は雨水整備が本格化するとともに、企業債の償還額が増大し、一般会計からの繰入金への依存度が高くなっている状況である。
 不足する財源については、財政部局との協議により一般会計から繰入金を確保しつつ、資本費平準化債等を活用しながら計画的な事業運営を図る必要がある。また、一般会計からの繰入金への依存度を減らすため、令和7年度に使用料改定を実施し、財源の確保を図っていく。あわせて経費回収率や施設利用率の向上に向けて、接続推進を図るとともに、経費の節減に努める必要がある。
 投資に関しては、施設の更新や農業集落排水施設の統合など中長期的な計画に基づき実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。